

第27回大阪大会のお知らせ

『輝く未来の子どもたちのために みんなが資源 みんなで支援』

大会参加申込・参加費振込期間を
11月28日（金）まで延長多数のご要望をいただき、
大会参加申込・参加費振込期間
を延長する運びとなりました主催 日本学校心理学会 <https://schoolpsychology.jp/>後援 文部科学省、一般社団法人学校心理士認定運営機構、日本学校心理士会
公益社団法人日本公認心理師協会、一般社団法人公認心理師の会、大阪公認心理師会
大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

期日 2025年12月27日（土）10時～2025年12月28日（日）

会場 追手門学院大手前中・高等学校 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20

日本学校心理学会 第27回大阪大会 開催にあたって

今年の大阪大会は、「輝く未来の子どもたちのために みんなが資源 みんなで支援」をテーマに、例年以上に充実したプログラムをご用意しました。大阪城のすぐそばという歴史と活気あふれる会場で、参加される皆さまとともに、学校心理学の新たな学びと成長を共有できることを心より楽しみにしています。大会では、家族心理臨床の第一人者であり、『木陰の物語』シリーズの著者として全国で講演・研修を行っている団士郎先生による基調講演をはじめ、スクールカウンセラーの実践に迫る半田一郎先生の受賞講演、そして、学校心理学の発展を牽引してきた第一人者であり、『学校心理学事典』の編者として実践と理論の橋渡しに尽力されてきた石隈利紀先生の特別講演と、学びの核となる講義が続きます。また、編集幹事の先生方とのクロストークも予定され、学校支援の現場を多面的に考える貴重な機会となるでしょう。さらに教育講演では、SEL（社会性と情動の学習）、学校危機対応、スポーツ心理学からの視点、教師が担うカウンセリング支援など、多様なテーマを第一人者の先生方がわかりやすく語られます。現場の実践者にとって、すぐに活かせる知見が満載です。加えて、ポスター発表も実施され、多彩な実践や研究に触れ、交流できる場が広がります。盛りだくさんの内容を通じて、参加者一人ひとりが「資源」としてつながり、子どもたちの未来を支えるための力をともに育む大会となることを願っています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

(1) 基調講演 (学校心理士資格更新Aポイント)

「『木陰の物語』の物語」 団 士郎先生 (家族心理臨床家・漫画家)

(2) 石隈利紀学校心理学貢献賞受賞講演

「スクールカウンセラーは、本当のところ何をしているのか？」

半田 一郎 先生 (守谷カウンセリングリソースサポート)

(3) 特別講演 (学校心理士資格更新Aポイント)

「学校心理学の可能性と課題から～『学校心理学事典』に込めた思い」

石隈利紀 先生 (東京成徳大学教授)

編集幹事とのクロストーク

(山口豊一先生・田村節子先生・西山久子先生・家近早苗先生・水野治久先生)



いじめ、不登校や引きこもり、発達障害、貧困や虐待などで、多くの子ども、保護者、教職員が苦戦している。異文化との共生教育、SOGI教育、インターネット・SNS教育などは、新しい学校教育の課題である。すべての子どもを援助するチーム学校の促進や教師の働き方改革は、社会全体の取り組むべき課題といえる。心理学と学校教育を統合する体系である「学校心理学」の枠組みで、福祉、保健医療、司法など幅広い分野の知見も含めて、学校教育にかかわる課題へのアプローチをわかりやすく紹介する中項目事典。

(4) 教育講演 (学校心理士資格更新Aポイント)

教育講演①

「非認知能力を育てる－社会性と情動の学習 (SEL) の実践と効果」

小泉 令三 先生 (福岡教育大学名誉教授)

教育講演②

「学校危機における援助ニーズ」 瀧野 揚三 先生 (大阪教育大学)

教育講演③

「ティーチングとコーチングそしてカウンセリングスポーツ心理学の視点から」

土屋 裕睦 先生 (大阪体育大学)

教育講演④

「教師が担うカウンセリングとその支援－事例検討・コンサルテーション・スーパービジョン」

三川 俊樹 先生 (追手門学院大学)

(5) ポスター発表について

90を超えるポスター発表が予定されており、たいへん活気に満ちた発表の場となることが期待されます。多様なテーマや実践報告、研究成果が一堂に会することで、参加者同士が互いの取り組みを知り、新たな視点やアイデアを得る貴重な機会となるでしょう。